



ISO19443(原子力セクターの品質)

ビジネスイノベーション

2023年に開催された国連の気候変動対策の会議「COP28」では、日本を含む、米国、英国、カナダ、フィンランド、フランス、韓国、スウェーデン、ウクライナ、UAEなど22か国が賛同する多国間宣言が発表されました。この宣言では、2050年までに世界の原子力発電所の発電容量を3倍に増やすことが含まれており、世界全体で温室効果ガス(GHG)排出ネットゼロを達成し、産業革命前と比較して気温上昇を1.5度に抑えつつ、持続可能な開発目標の目標7(エネルギーをみんなにそしてクリーンに)を達成するために、原子力が重要な役割を担うとされています。

原子力セクターでは、バリューチェーン全体を通じた安全性と品質確保が鍵であり、厳格な規制があります。特に英国がネットゼロへの移行を続けるなか、ゼロ/低炭素エネルギー源への関心は強く、競争が激化する市場では、品質への取り組みを実証することが極めて重要です。

ISO19443認証は、顧客の要求と規制要件を一貫して満たす製品とサービスを提供する能力を実証するプラットフォームを提供します。この分野でビューローベリタスは、UKAS* 認定を受けています。

* UKAS: United Kingdom Accreditation Service(英国認証機関認定審議会)

ソリューション

ISO19443とは

ISO19443は、原子力分野における品質マネジメントシステムの国際規格です。原子力安全にとって重要な製品とサービス(ITNS: important to nuclear safety)を提供するあらゆる組織に適用され、原子力セクターにおける品質マネジメントシステムのフレームワークを設定し、要件を定義します。

原子力エネルギー分野に特有の原則を踏まえたうえで、原子力サプライチェーン全体の安全性と品質を向上させるよう、ISO9001規格をベースに設計されています。



組織にとってのメリット

ISO19443認証は、他の国際規格と統合することも可能です。

- 競争優位性を推進
- 製品とサービスが、顧客の要求だけでなく、適用法的要件や規制要件も満たしていることを効果的に確認
- パフォーマンスの継続的改善状況の把握
- 組織の品質プロセスマネジメント
- リスクマネジメントの改善
- 品質マネジメントシステムとビジネスプロセスとの連携確保



ISO9001とISO19443の違い

ISO9001とISO19443の違いは、ISO9001が幅広い業界にわたる品質マネジメントシステムのフレームワークを設定している(ISO19443も同じ原則に基づいている)のに対し、ISO19443は、原子力の安全性(ITNS)にとって重要な製品とサービスを供給する原子力エネルギー分野の組織に特化しています。

ISO19443はISO9001の要求事項を補完して要求事項が追加されており、例えば、「リーダーシップ」では、原子力安全文化の醸成が要求事項に含まれていることは大きな特徴です。原子力の安全性(ITNS)に関わる人々は、原子力安全の重要性について訓練を受けることも要求事項に含まれています。

また、ISO19443では、原子力の安全性(ITNS)にとって重要な製品とサービスを特定することが要求されており、技術仕様、手順、管理システム協約(品質保証および品質管理を含む)、およびその他の契約文書等を使用して、原子力の安全性(ITNS)にとって重要な製品とサービスに関わる要求事項がサプライヤーを通じてカスケードされることが意図されています。

その他、CFS item と呼ばれる偽造品、模造品への対応が要求事項に含まれていることもISO19443の特徴のひとつです。

ビューローベリタスが選ばれる理由

ビューローベリタスは、UKASのパイロット認定プログラムを通じて、開始当初に英国で認定を受けた組織の一つです。その結果、私たちは組織と協力して、標準の要件を満たし、マネジメントシステムのギャップを特定し、必要な規格に合わせて監査を行います。また、ビジネスの主要分野全体で知識を向上させるためのトレーニングも提供しています。

- 世界中で150,000件を超えるISO認証実績と7,400人以上の熟練した審査員を保有
- 原子力分野に関する重要な世界的顧客基盤と原子力分野に関する広範な知識
- 各国規制、市場、言語知識
- 世界中の40以上の機関による認定
- 独立した第三者機関